

Title	『哲學』第十五輯正誤表
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1936
Jtitle	哲學 No.16 (1936. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000016-0244

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『哲學』第十五輯正誤表

社會と認識

新館正國

頁	行	誤	正
二	九	在り	あり
八	十	窮局	窮極
一一	一一	窮局	窮極
一三	一一	演釋	演繹
一四	一四	窮局	窮極
一八	二	在る	ある
一九	六	根跡	痕跡
二三	八	Attitude	Attitude
二五	二	Erlösungswissen	Erlösungswissen

シエラーの哲學的人間學管見

宮崎友愛

頁	行	誤	正
四七	一〇	相尅	相剋
五〇	三	脱かれて	免かれて
五〇	一一	確立し記述し分類	確立し、記述し、 分類し、記述し、 離るべからざる
五三	九	離すべからざる	離るべからざる
五五	八	且つ	且つ
六五	二	十分	充分
六八	一一	思想意欲	思惟、意欲
七〇	七—八	近世機械觀的思想 に存する共通な	近世機械觀的思想 に共通に存する
八四	七	終末	終末
八六	一一	根底	根柢
八八	六	疵護	庇護
九一		Einführung	Einführung

プラトンに於ける魂の不滅
(殊にバイドン篇を中心として)

星野重顯

頁	行	誤	正
一〇〇	一三	ゐる、	ゐる。
一〇九	一四	醫され	癒され
一一一	一一	専門的	専門的
一一四	二	冒し	犯し
一三〇	三	證明	證明

主語論理の研究

松本正夫

頁	行	誤	正
一三七	七	「述語論理の諸特 性」の	「述語論理の諸特 性」の
一四二	一一	段階	段階
一四八	九	A \equiv A A \equiv non-A	A \equiv A A \neq non-A
一五五	一三	矛盾排中の	矛盾排中の
一五七	四	防げぬ	妨げぬ
一五七	一七	「有はある」として ならば	「有は「ある」として ならば
一六一	八	時空要素	時空の要素
一六二	一	重複	重複
一六二	四	能有は述語論理の	能有は斯の如く述語 論理の
一六七	一五	有で、 うるもの	有で うるもの
一六八	一	「豫料」	「豫料」
一七〇	三	物指し	物差
一七二	二	negative	negative
一七五	五	dose	dose
一七六	一〇	「相論論的力學」 枚擧	「相對論的力學」 枚擧
一七七	一一	反つて	却つて
一八一	一五	そなえず る個別者の段階	そなへず る個別者の段階
一八四	一三	術で	術で
一八八	八	點線面	點、線、面、
一九〇	一	相等性	相等性
一九二	八	等時性	等時性
一九七	七	一般者の制の	一般者の規制の
二〇〇	九	一旦	一旦
二〇〇	九	一旦	一旦
二〇一	二	循環	循環
二〇七	一一	未だ	未だ
二〇九	九	未だ	未だ
二一一	五	未だ	未だ
二一三	五	未だ	未だ
二一八	七	未だ	未だ
二二〇	七	波動に屬する振動	波動に屬する振動
二二〇	二	波動に屬する振動	波動に屬する振動
二二五	六	未だ	未だ
二二七	七	未だ	未だ
二二九	一	法則	法則
二二九	一	奇異なる要請	奇異なるこの要請
二二九	一三	からである。「三」 b項終参照。	からである。「三」 b項参照。
二二九	一七	particulièrement	particulièrement